



# THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



## Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

### ROTARY: MANKIND IS OUR BUSINESS

#### 「ロータリー：人類が私たちの仕事」

2001～2002年度・国際ロータリーテーマ／リチャード D.キング会長

#### 「ロータリーの心を伝えよう―家庭に、職場に、地域に―」

2001～2002年度・東京新南ロータリークラブテーマ／大日方 真会長

本日の例会 12月21日 第729回例会

ブッフエスタイル例会のため卓話はありません

先週報告 12月14日 第728回例会

#### クラブ創立15周年記念行事

クラブ創立15周年記念行事が、12月14日午後3時から、東京全日空ホテルにて行われた。今回の行事は、時節柄、“派手にならないように、全員参加で内容のあるもの”という方針のもとで、一部の記念フォーラム、二部の記念式典・例会及び祝宴・家族忘年会から構成されていた。

#### ★15周年記念フォーラム 15:00～17:00 (八雲の間)

全員参加で内容のある記念事業の一つとして、全会員が3つのグループに分かれて、当クラブが直面する下記の3つの基本的なテーマを考えた。記念事業委員会及び各グループのリーダー・サブリーダーが、記念フォーラムの目的とテーマの背景に関する記念事業委員会のメモ、各テーマに関するアンケートを事前に全会員に配布し、結果をまとめて当日のフォーラムに備えるという手作りのプログラムであった。限られた時間であったが、それぞれのグループで活発な議論が行われ、続いて各リーダーがグループの討論の結果報告を行った。いずれも大きなテーマであり簡単に回答がでるものではなく、今回のフォーラムをもとに継続して研究を続けようということになり、新しい試みが成功裏に終わった。

- 1) ロータリー活動の基本としてのクラブの自主性・協調性  
(リーダー：馬場、サブ：関／出席15名、欠席8名)
- 2) クラブの活性化・連帯感の保持には何が必要か  
(リーダー：青野、サブ：石井／出席16名、欠席8名)
- 3) 世代間の交流・融和をどう実現するか  
(リーダー：福島、サブ：西澤／出席14名、欠席9名)

#### ★15周年記念式典及び例会 17:30～18:15

#### 祝宴及び忘年家族会 18:30～20:30 (瑞雲の間)

会場を瑞雲の間に移し、来賓及び会員の家族も参加して、新保会員の司会で記念式典・例会が行われた。通常の例会のプログラムに加え、物故会員に対する黙祷、会長の15周年の挨拶、記念行事報告、10周年以降の会長経験者への感謝状贈呈などが行われた。

その後の祝宴及び忘年家族会ディナーには、ご来賓11名、会員家族・ゲスト34名(参加人数105名)の出席があり、当クラブの年間テーマである“ロータリーの心を伝えよう―家庭に、職場に、地域に―”をまさに実現したものとなった。

続いて、四分一さんの司会で、15周年記念コンサートに進んだ。ソプラノ本島阿佐子、テノール上原正敏、ピアノ大須賀恵理で、時間がたつのも忘れて、“歌で聞く「音楽とこゝろ変われば～イタリアvsドイツ・オーストリア」”を出席者全員が心行くまで楽しんだ。

最後は、出席者全員がひとつの大きな輪になって、ロータリーソング「手に手つないで」の大合唱で15周年記念式典・家族忘年会を終えた。  
(本嶋 記)



フォーラム会場風景



記念コンサート



「手に手つないで」

#### ◎慶事報告 誕生日祝／喜寿祝

柴本芳郎君(12月18日)、石東嘉男君(12月26日)

#### ◎出席報告

会員71名／出席61名・欠席10名【11月平均出席率 77.69%】

ご来賓／(敬称略・順不同)東京南RC副会長 中谷良平、東京南RC幹事 小川春也、元会長 沖宏之、元会長 宮武保義・(令夫人)洋子、元会長令夫人 田島満喜子、元会長令夫人 佐藤悌子、米山奨学生 党偉栄、米山奨学生指導教官・東京工業大学化学工学科教授 津田健

ゲスト(2名・敬称略)／丁讃宇、横原千代

会員家族(32名・敬称略)／青野悦子、伯井光代・業穂子、石井喜子、石東陽子、岩上曜子・由佳、岸利依子、清原智子、小澁久美子、小杉式子、小杉克子、西澤市子、大日方スミ子、尾上和美、小原栄子、尾関文代、島田道子、新保寧子、鈴木勝代、鈴木美智子、高須貴久代、立林清美、土屋淑子、山川佐智子、山根恵子、山下幸江・幸治、保森和子、吉田克枝、吉岡登美子、若村竹子(四分一会員ゲスト)

## 12月定例理事会議事録

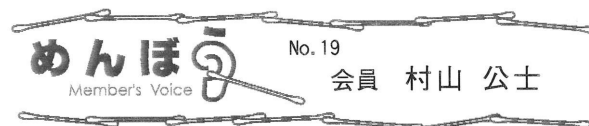
日 時 2001年12月7日 例会後13:50～15:40  
場 所 東京全日空ホテル 1F 孔雀の間  
出席者 大日方、谷村、青野、清原、村山、島田、吉田(用)、入沢、西澤、新保 (順不同・敬称略)

### 決議事項

1. 新会員候補者2名の入会を承認。
2. 次の4会員の退会を2001年12月31日付けで承認。  
梶内滋男君・大山啓人君(業務多忙のため)、市川徹君・金光圭一君(一身上)
3. アフガン難民救済のための募金に35,000円協力することを承認。
4. 第4回クラブ協議会(2002.1.18)の件を次の通り承認。  
テーマ「各委員会上半年活動報告と下半年活動計画」  
各委員長には「上半年活動報告、下半年活動計画書」を2002年1月11日までに提出して頂く。
5. 夜間例会/レディース・デー(2002.2.8)プログラムを承認。  
片倉もところ氏(中央大学教授/文化人類学)の講演。
6. 千代田・Cグループ準備委員会の通り承認。
7. 拡大検討委員会設置と委員会構成を承認。(敬称略)  
委員長/小杉眞史、副委員長/開発英基  
委員/清原元輔・武下朗・吉田武・田辺賢三・大日方真

### 報告事項

次期会長報告/次年度SAAに開発英基君を選出。  
幹事報告/  
①アイメイト協会見学会(11/16)はメイクアップ扱いとする。  
②ホテル担当者、事務所大家さんへの歳暮贈呈の件  
会計報告/11月末  
親睦活動委員会報告/日帰り旅行会  
(2002.4.13.(土)山梨県忍野八海方面)  
社会奉仕委員会報告/アイメイト4号募金状況報告。



No. 19

会員 村山 公士

### 夏の日思い出

社会人になったばかりの頃、多少ヨットを楽しんだ経験がある。木造の21フィートの艇で、至って小さなものを友人と共同で所有していた。当時でも繋留場所には苦勞させられ、仕方なく我々は熱海の先の網代の漁港に置いていた。それも正規のハーバーというわけでもないで、お金はとられるが、まったく保障の無い繋留にすぎなかった。そんな所だけにちょっと乗るのにも朝早く家を出て、場合によっては新幹線に乗ったりしなければならぬという具合であった。その上、手に入れたばかりの頃は修理専門で、毎週日曜日にはるる出かけていってペンキ塗りだけして帰ってくるということもしばしばであった。やっと帆走できるようになってからも、出かける先はせいぜい網代と目と鼻の先にある初島ぐらいである。それも、大体我々が出かけるような夏場はヨットが帆走するのに良い風が吹くことは少なく、ヨットに乗せてあげるからなどと友達を連れて行った時に限ってほとんど風もなく、ただただ波間に漂っているだけ、仕舞いには皆酔ってしまって、ヨットなんて二度と乗るまいということになるのである。

この艇でもっとも遠くまで行ったのは、なんと情けないことに大島である。大島までは網代からほぼ40キロ、車なら1時間の距離である。当時すでにFRPの艇が主流になっていて普通は片道4、5時間程度で行けるところを我々は何と2日もかかってしまった。1日目、準備に手間取って出港したのがすでに午後も大分遅くなっていて、網代と伊東の間の宇佐美の漁港に停泊することにした。その時初めて知ったのだが港はどんなものにも開放されており、我々のようないい加減な者ですら何の制約も無く一夜停泊をさせてもらうことができた。

翌朝は早朝に出港、しかし前日とは打って変わって波は高く、風は強い、我々の艇はちっとも進まない。木造なので重くてスピードが上らないのである。後から港を出て来る他のヨットにどんどん抜かれていく。網代から大島へは一般の船舶の航路を横切ることになるので途中大型船とぶつかりそうになる。もちろん向こうからは見えないからこちらが逃げなければいけない。実に怖い。そうこうするうち波がどんどん高くなり、船が波間にすっぽりと入るようになってきた。大島も伊豆も見えない。方向も定かではない。一緒に乗っていたのは二人、気持ちが悪くなったからとキャビンにもぐってしまった。怖いと思いつつも、この艇は堀江青年(当時)が太平洋を横断したものと同型で転覆しても絶対に沈没はしないという、ただそれだけを頼りに走った。そのうち、陸地が見えてきた。元町港だ。本当は波浮に着くつもりだったのに。今度は潮流に逆らって進むため、まったく進まない。しかし、陸地が見えていると全然不安を感じないものである。港に入るときはエンジンが止まってしまって他のヨットに曳航してもらって入港というおまけつき。

一泊して、翌日網代に戻ってきたのだが、帰りについては全く覚えていない。若い頃の経験談のお粗末でした。

会員の皆様、ご家族の皆様お揃いでよいお年をお迎え下さい。

12月28日(金)、2002年1月4日(金)は休会です。

次回予告 2002年1月11日 第730回例会  
新年初例会

「新年のご挨拶」 会長 大日方 真君  
卓話予定

「笑いと長寿の国へのパスポート」

古今亭志ん駒 師匠



12月14日/30件120,000円  
2001～2002年度累計856,000円  
多額の御寄付を有難うございました。

宮武保義/15周年おめでとうございます。洋子ともどもお招きいただき有難うございます。ジョン・チャヌ(ゲスト)/新南ロータリークラブ15周年おめでとうございます。柴本芳郎/15周年式典、祝宴の成功を祈念して。河原勢自・山川政樹・青野信次・荒木昭文・荻野道雄・柴田陽三・新保國彦・高須康有・勝山洋光・西澤正雄・小澁雅亮・小杉修造・小杉眞史・福島賢哉/創立15周年をお祝いして。斉藤茂之/来年もよろしく。少しは出席します。山下忠治/本日は家族共々楽しんでいただきます。保森登/久しぶりに皆様にお逢いでき嬉しいです。石末嘉男/15周年ご同慶の至りです。又、喜寿を祝っていただけの由喜んでよいのか複雑な心境です。土屋東一/うちの淑子さんがお世話になります。おかげさまで元気になりました。後藤完夫/スポーツで健康な身体づくりをしましょう。清原元輔/15周年おめでとうございます。本日の祝宴及び忘年家族会に多勢の皆様がご参加いただきありがとうございます。どうぞ、お楽しみいただければ幸いです。鈴木重徳/米山奨学生、党さんの指導教授であられる東京工大の津田先生に感謝して。村山公士/津田先生、当クラブへようこそいらっしゃいます。本日はごゆっくりお楽しみ下さい。伯井隆義/15周年記念の準備をされた皆さん、ありがとうございました。石井謙次/青野リーダー、第2グループの方おつかれ様でした。尾上寛/フォーラムで発言が出来ました。岩上義明/今日は一家で参りました。宜しく願い致します。

(紙面の都合でコメントを一部纏めさせて頂きました。)

東京新南ロータリークラブ [http://www.h3.dion.ne.jp/~newsouth]

【会長】大日方真 【副会長】谷村義雄 【幹事】新保國彦

【会報委員長】小杉眞史 【今週の担当】岩上義明

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階  
例会日・例会場/毎週金曜日 12時30分 東京全日空ホテル

TEL: 03-3505-5976 FAX: 03-3505-6004 new-south@h9.dion.ne.jp  
〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL: 03-3505-1111